

9.5 次の2元対称通信路  $T$  に対して、以下の問いに答えなさい.

$$T = \begin{bmatrix} 1-p & p \\ p & 1-p \end{bmatrix}$$

- (1)  $p$  を何と呼ぶか、答えなさい.
- (2) 通報  $\mathbf{x}_1 = 101010$  を送信し、 $\mathbf{y}_1 = 100110$  を受信した場合、 $\mathbf{x}_1$  と  $\mathbf{y}_1$  のハミング距離  $h(\mathbf{x}_1, \mathbf{y}_1)$  を求めなさい.
- (3) (2) の場合の  $P(\mathbf{y}_1 | \mathbf{x}_1)$  を求めなさい.
- (4) 一般に長さ  $n$  の通報  $\mathbf{x}$  を送信し、 $\mathbf{y}$  が受信されるとき、その間のハミング距離が  $h(\mathbf{x}, \mathbf{y}) = \alpha$  の場合、 $P(\mathbf{y} | \mathbf{x})$  はどのように表されるかを答えなさい.

(1)  $p$ は送信における誤り確率 (p.84参照)

(2) ハミング距離 = 異なるビットの数

$$\mathbf{x}_1 = 101010, \mathbf{y}_1 = 100110, h(\mathbf{x}_1, \mathbf{y}_1) = 2$$

(3) <送信誤り無し>  $x_1(i) = 1 \rightarrow y_1(i) = 1, x_1(i) = 0 \rightarrow y_1(i) = 0$ となる確率は  $1 - p$ ,

<送信誤り有り>  $x_1(i) = 1 \rightarrow y_1(i) = 0, x_1(i) = 0 \rightarrow y_1(i) = 1$ となる確率は  $p$ である.

送信誤り無しが4ビット, 送信誤り有りが2ビット

$\mathbf{x}_1$ を送信したとき,  $\mathbf{y}_1$ が受信される確率  $P(\mathbf{y}_1|\mathbf{x}_1)$ :

$$P(\mathbf{y}_1|\mathbf{x}_1) = (1 - p)^4 p^2$$

(4) ハミング距離 ( $h(\mathbf{x}, \mathbf{y}) = \alpha$ ) = 送信誤りのビット数

通報  $\mathbf{x}$  の長さ  $n$  - ハミング距離 ( $\alpha$ ) = 送信誤りのないビット数

$$P(\mathbf{y}|\mathbf{x}) = (1 - p)^{n-\alpha} p^\alpha$$

10.5 情報ビットと検査ビットの線形関係を規定する次のような情報・検査ビット関連行列  $\mathbf{P}$  に対して、以下の問いに答えなさい。

$$\mathbf{P} = \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \\ 1 & 1 \end{bmatrix}$$

- (1) これは、 $(n, k)$  線形符号である。  $n$  と  $k$  を答えなさい。
- (2) 生成行列  $\mathbf{G}$  を求めなさい。
- (3) 情報ビット 00, 01, 10, 11 に対する符号語  $\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3, \mathbf{u}_4$  を求めなさい。

- (4) 線形符号の符号語の線形結合 (符号語を加え合わせたもの) によりできた符号語は, また線形符号の符号語となるが, (3)で求めた符号語  $\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3, \mathbf{u}_4$  を用いて, それを示しなさい.
- (5) 検査行列  $\mathbf{H}$  を求めなさい.
- (6) 1箇所のみ誤りがある場合のシンδροーム  $\mathbf{s}$  をすべて求めなさい. また, 誤り箇所とシンδροーム  $\mathbf{s}$  の間には, どのような関係があるかを示しなさい.
- (7) (6)で求めたシンδροーム  $\mathbf{s}$  を 0,1 の記号列として見た場合, 可能性として現れてもよい他の記号列が存在する. それを示しなさい. また, そのシンδροーム  $\mathbf{s}$  は, 何を意味するかを答えなさい.

(1)  $(n, k)$ 線形符号: 符号 ( $n$  bit) = 情報 ( $k$  bit) + 検査 ( $n - k$  bit)

$$\mathbf{u} = (\mathbf{x}^T, \mathbf{p}^T) = (\underbrace{x_1, \dots, x_k}_{\text{情報ビット}}, \underbrace{p_1, \dots, p_{n-k}}_{\text{検査ビット}})$$

$$\mathbf{p} = \mathbf{P}\mathbf{x}$$

$$\mathbf{P} = \begin{bmatrix} p_{11} & \cdot & \cdot & \cdot & p_{1k} \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ p_{n-k1} & \cdot & \cdot & \cdot & p_{n-kk} \end{bmatrix}$$

$$\forall i, \ell \quad p_{i\ell} \in \{0, 1\}$$

$P = 3 \times 2$ 行列であるから,  $n - k = 3, k = 2 \rightarrow n = 5, k = 2$

## (2) $G$ と $P$ の関係

$$G = [I_k, P^T] \quad G = [I_2, P^T] = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 0 & 1 & 1 \end{bmatrix}$$

$$(3) \quad \mathbf{p} = P\mathbf{x} \quad \mathbf{u} = (\mathbf{x}^T, \mathbf{p}^T) = (\underbrace{x_1, \dots, x_k}_{\text{情報ビット}}, \underbrace{p_1, \dots, p_{n-k}}_{\text{検査ビット}})$$

$$\text{または} \quad \mathbf{u} = \mathbf{x}^T G$$

$\mathbf{x}^T$  として, 00, 01, 10, 11 を代入

$$\mathbf{u}_1 = (0 \ 0 \ 0 \ 0 \ 0) \quad \mathbf{u}_3 = (1 \ 0 \ 1 \ 0 \ 1)$$

$$\mathbf{u}_2 = (0 \ 1 \ 0 \ 1 \ 1) \quad \mathbf{u}_4 = (1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 0)$$

(4)  $\mathbf{u}_k + \mathbf{u}_l$  が  $\mathbf{u}_1 \sim \mathbf{u}_4$  のいずれかになることを示す.

$$\text{または, } \mathbf{u}_k + \mathbf{u}_l = \mathbf{x}_k^T G + \mathbf{x}_l^T G = (\mathbf{x}_k + \mathbf{x}_l)^T G$$

であるから,  $\mathbf{x}_k + \mathbf{x}_l$  が  $\mathbf{x}_1 \sim \mathbf{x}_4$  のいずれかになることを示す.

(参考) 10. 6の問題

(5)

$$\mathbf{H} = [\mathbf{P}, \mathbf{I}_{n-k}] \quad \mathbf{H} = [\mathbf{P}, \mathbf{I}_3] = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 & 0 \\ 1 & 1 & 0 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

(6)

$i$  番目に誤りがある誤りベクトル  $\mathbf{e}_i (i=1, \dots, 5)$  と、誤りがない場合  $\mathbf{e}_0 = (0 \ 0 \ 0 \ 0 \ 0)$  に対するシンドローム  $\mathbf{s}_i (i=0, \dots, 5)$  を求める.

$$\begin{bmatrix} \mathbf{s}_0 \\ \mathbf{s}_1 \\ \mathbf{s}_2 \\ \mathbf{s}_3 \\ \mathbf{s}_4 \\ \mathbf{s}_5 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \mathbf{e}_0 \\ \mathbf{e}_1 \\ \mathbf{e}_2 \\ \mathbf{e}_3 \\ \mathbf{e}_4 \\ \mathbf{e}_5 \end{bmatrix} \mathbf{H}^T = \begin{bmatrix} 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

以上より、誤りが  $i$  番目の場合は、シンドローム  $\mathbf{s}_i$  は、検査行列  $\mathbf{H}$  の  $i$  列となる.

(7)

- ・シンドローム  $s$  は検査ビット  $p$  と同じ3ビット  $(n - k) = 3$
- ・シンドローム  $s$  は000~111の8通りを表現できる.
- ・符号語の長さは5ビット  $(n = 5)$
- ・誤差ベクトル: (誤り無し), (1箇所誤り: 5通り) = 6通り  
→6通りのシンドロームが(6)で計算された.
- ・ $8 - 6 = 2$ 通りのパターンが残っている  
→ $s_6 = 110, s_7 = 111$  →何を意味するか?
- ・ $s_6 = s_1 + s_2, s_7 = s_2 + s_3$  であるから,  
 $e_1 + e_2 = (11000), e_2 + e_3 = (01100)$  に対応する  
しかし,  $s_6 = s_3 + s_4, s_7 = s_1 + s_4$  とも表せるので, 2個の誤りを検出・訂正できない.

## 10.6

線形符号  $C$  の符号語  $u$  と  $v$  の和もまた、線形符号  $C$  の符号語となることを示せ.

$$u \in C \iff uH^T = \mathbf{0}$$

$$v \in C \iff vH^T = \mathbf{0}$$

ここで、符号語  $u + v$  を考える.

$$(u + v)H^T = uH^T + vH^T = \mathbf{0}$$

$$\therefore u + v \in C$$

# 第11章 巡回符号

巡回符号： 線形符号の一種

符号語に対応する符号多項式を定義

線形符号の生成行列	生成多項式
検査行列	検査多項式

# 11.1 巡回符号とは

符号長が  $n$  の 2 元線形符号  $C$  を考える.

$$\forall \mathbf{a} = (a_0, a_1, \dots, a_{n-2}, a_{n-1}) \in C$$

$$a_k \in \{0, 1\} \quad (k=0, \dots, n-1)$$

$$\mathbf{a}^{(1)} = (a_{n-1}, a_0, \dots, a_{n-3}, a_{n-2})$$

これをまた置換すると,

$$\mathbf{a}^{(2)} = (a_{n-2}, a_{n-1}, a_0, \dots, a_{n-3})$$

⋮

$\forall \mathbf{a} \in C$  に対して,  $\forall k \mathbf{a}^{(k)} \in C \Rightarrow C$  : 巡回符号

## 11.2 符号多項式

符号語  $\mathbf{a} = (a_0, a_1, \dots, a_{n-2}, a_{n-1})$  に対する符号多項式を次のように定義する.

$$F(x) = a_0 + a_1x + \dots + a_{n-2}x^{n-2} + a_{n-1}x^{n-1}$$

$$(\deg F(x) \leq n-1)$$

$\deg F(x)$  は,  $F(x)$  の次数  
 $a_{n-1} \neq 0$  ならば  $\deg F(x) = n-1$

$x \in \{0, 1\}$       mod 2 の演算

$$\mathbf{a} \quad \Rightarrow \quad F(x) = a_0 + a_1x + \cdots + a_{n-2}x^{n-2} + a_{n-1}x^{n-1}$$

$$\mathbf{a}^{(1)} \quad \Rightarrow \quad F^{(1)}(x) = a_{n-1} + a_0x + \cdots + a_{n-3}x^{n-2} + a_{n-2}x^{n-1}$$

$$\mathbf{a}^{(2)} \quad \Rightarrow \quad F^{(2)}(x) = a_{n-2} + a_{n-1}x + \cdots + a_{n-4}x^{n-2} + a_{n-3}x^{n-1}$$

$\vdots$   $\vdots$

## 生成多項式 $G(x)$

符号  $C$  の全ての符号語に対する符号多項式  $F^{(i)}(x)$  の  
中で **次数が最小な符号多項式**

## 11.3 符号多項式の性質

$$F(x) = a_0 + a_1x + \cdots + a_{n-2}x^{n-2} + a_{n-1}x^{n-1}$$

$$\begin{aligned} xF(x) &= a_{n-1}(x^n - 1) + a_{n-1} + a_0x + \cdots + a_{n-3}x^{n-2} + a_{n-2}x^{n-1} \\ &= a_{n-1}(x^n - 1) + F^{(1)}(x) \end{aligned}$$

$xF(x)$ を $(x^n - 1)$ で割ったならば、商が $a_{n-1}$ で余り(剰余)が $F^{(1)}(x)$ である.

$$xF(x) \bmod (x^n - 1) = F^{(1)}(x)$$

$A(x) \bmod B(x) = \{A(x)$ を $B(x)$ で割った剰余多項式}

式 (11.10) にもう一度  $x$  をかけると,

$$x^2 F(x) = (a_{n-1}x + a_{n-2})(x^n - 1) + F^{(2)}(x)$$

$$\therefore x^2 F(x) \bmod (x^n - 1) = F^{(2)}(x)$$

これを繰り返すと,

$$x^i F(x) \bmod (x^n - 1) = F^{(i)}(x)$$

これは,

$$\forall i \quad x^i F(x) \bmod (x^n - 1) = F^{(i)}(x) = \{\text{符号多項式}\}$$

が成り立つことを示している.

$i = 1, 2, \dots, N$ までの1次結合を考え、かつ、線形符号語の1次結合はまた線形符号であることから、

$$\sum_{i=1}^N c_i [x^i F(x)] \bmod (x^n - 1) = \sum_{i=1}^N c_i F^{(i)}(x)$$
$$\left[ \left\{ \sum_{i=1}^N c_i x^i \right\} F(x) \right] \bmod (x^n - 1) = \sum_{i=1}^N c_i F^{(i)}(x)$$
$$= \{\text{符号多項式}\}$$

$$\sum_{i=1}^N c_i x^i = C(x)$$

とおくと、任意の多項式  $C(x)$  に対して、

$$C(x)F(x) \bmod (x^n - 1) = \{\text{符号多項式}\}$$

### 【性質 11.1】

符号多項式  $F(x)$  ( $\deg F(x) \leq n-1$ ) に対して,

$$\forall C(x) \quad C(x)F(x) \bmod (x^n - 1) = \{\text{符号多項式}\} \quad (11.23)$$

が成り立つ. ここで,  $\deg C(x)F(x) \leq n-1$  のときは,  $C(x)F(x)$  自身が剰余多項式となり, 符号多項式である.

### 【性質 11.2】

任意の符号多項式  $F(x)$  ( $\deg F(x) \leq n-1$ ) に対して,

$$F(x) \bmod G(x) = 0$$

すなわち, すべての符号多項式は, 生成多項式  $G(x)$  で割り切れる.

**【性質 11.3】**

多項式  $F(x)$  ( $\deg F(x) \leq n-1$ ) がある.

$F(x)$  が符号多項式であることの必要十分条件は, 以下のように表されることである.

$$F(x) = C(x)G(x) \tag{11.30}$$

ここで

$$C(x) : \text{多項式} \tag{11.31}$$

$$G(x) : \text{生成多項式}$$

# 演習問題(1)

次の2元対称通信路に対して以下の問いに答えよ.

$$T = \begin{bmatrix} 0.8 & 0.2 \\ 0.2 & 0.8 \end{bmatrix}$$

(1)  $x = (10101011)$ を送信して,  $y = (10011010)$ を受信したとする. ハミング距離 $h(x, y)$ を求めよ.

(2)  $P(y|x)$ を求めよ. 但し, 解答はべき乗のままよい.

## 演習問題(2)

情報・検査ビット関連行列が次のように与えられている。  
以下の問いに答えよ。

$$P = \begin{bmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 1 \\ 1 & 0 \end{bmatrix}$$

- (1) 生成行列  $G$  を求めよ。
- (2) 情報ビット 00, 01, 10, 11 に対する符号語  $u_1, u_2, u_3, u_4$  を求めよ。
- (3) 検査行列  $H$  を求めよ。
- (4) 次の関係が成り立つことを示せ。

$$Hu_k^T = \mathbf{0}, k = 1 \sim 4$$

- (5) 受信記号  $y = (10101)$  が正しいか否か判定せよ。  
誤っている場合は、誤りが1箇所であるとして訂正せよ。

# 演習問題(3)

巡回符号に関して、以下の問いに答えよ.

- (1) 2元線形符号 $C$ の1つの符号語が $a = (1001)$ であるとき、その巡回置換してできる符号語 $a^{(k)}$ ,  $k = 1 \sim 3$ を求めよ.
- (2) 上記の $a$ と $a^{(k)}$ に対する符号多項式 $F(x)$ を求めよ.
- (3) 生成多項式を求めよ.  
 $F(x)$ の中で次数が最小の多項式